

第3学年 社会科学習指導案

1 単元名 私たちの暮らしと経済

2 単元指導計画

| 次 | 時 | 主な学習内容 |
|---|-----|-------------------------------------|
| 1 | 1 | スーパーマーケットの経営者になってみよう。 |
| 2 | 2～4 | 私たちの消費生活について考えよう。(消費者の権利、契約と消費生活) |
| 3 | 5 | 消費生活を支える流通について考えよう。 |
| 4 | 6 | 自立した消費者になるために大切なことを考えよう。(持続可能な社会とは) |

3 本時について (5/6)

(1) ねらい

流通の仕組みを知ることを通して、店が流通の合理化を図ることで、流通の費用を削減し、消費者により安く提供することに気付き、利益を生み出そうとしていることを説明することができる。

(2) 評価規準

店が、流通の合理化を図ることで、流通の費用を削減し、消費者により安く提供することにより、利益を生み出そうとしていることを理解している。(知識・技能)

(3) 学習展開

| 過程 | 学習活動 | 教師の指導・援助(留意点) |
|----|--|--|
| 導入 | 1 夕食の食材(野菜・果実・魚・肉など)をどこで買うかを聞く。 ・大型スーパーマーケット、コンビニエンスストア ○「夕食の食材としてあなたはAかBのどちらの商品を買いますか。それはなぜですか。」 ・安いから ・大きいから ・新鮮だから。 | ・商品の価格に大きな差があることを理解する。 ・実物の野菜を提示し、生徒の関心を高める。 ・【資料】スーパーとコンビニエンスストアの売り場の写真 |
| 展開 | 2 課題設定 なぜ店により、商品の価格が異なるのだろうか。 | 【ICT活用の工夫】 |
| | 3 予想する。(個人→ペア→全体交流) ・卸売業や小売業が間に入っていないから。 ・大量に仕入れているから。 ・人件費を減らしているから。 | ・協働学習支援ツールで生徒に資料を配付する。カードを使って自分の考えをまとめ共有する。また、配布された資料以外にも自らインターネットで関連した内容を調査する。 |
| 終末 | 4 個人追究 ・合理化する前は、生産者から卸売業者、小売業者を経て、消費者のもとへ商品が届いていたが、直接仕入れや一括仕入れをすると、道筋が減り、費用を削減することができる。 ・経費が削減できる分、消費者に安く提供できる。そうすることで、他店との競争に勝ち、消費者から信頼を集めることができ、儲けを生み出すことができる。 | ・資料を見て、流通の仕組みを理解し、合理化をする前と後とでは、何が異なるのか考える。 ・一人一人がどちらの店で買うのか、自らの意見をもつように促す。 ・様々な流れによって、商品は自分たちのもとに届くと気付くよう促す。 |
| | 5 まとめ・振り返り(協働学習支援ツールで共有) 流通経路によって商品の価格が変化することが分かった。流通があるから、私たちは欲しいものを簡単に手に入れることができる。消費者へ商品を安く提供することで他店との競争に勝ち、信頼を得て、儲けを生み出すことができると分かった。 | 【ICT活用の工夫】 ・同じ商品でも価格が異なる理由について、各自30秒で説明し、端末に録画する。 |